

登録No. S-017
 登録名 mFOLFOX6療法
 催吐性リスク 中等度
 適応疾患 結腸癌・直腸癌・胃癌
 投与スケジュール

	薬剤	投与量	最大投与量	投与日	投与経路	投与時間	備考
Rp.1	パリアナック用リッパ	1本/body		d1・3	CVポート		投与前フラッシュ 投与後ロック
Rp.2	グラニセトロンパッ デキサメタゾン	100mL/body 9.9mg/body		d1	d.i.v. (CVポート)	30min	
Rp.3	レボホリナート 5%ブドウ糖液	200mg/m ² 250mL/body		d1	d.i.v. (CVポート)	2hr	メインルート
Rp.4	オキサリプラチン 5%ブドウ糖液	85mg/m ² 250mL/body		d1	d.i.v. (CVポート)	2hr	側管 レボホリナートと同時投与
Rp.5	5-FU 生食	400mg/m ² 50mL/body		d1	d.i.v. (CVポート)	全開	
Rp.6	5-FU 生食	2400mg/m ² 適量		d1	d.i.v. 持続投与 (CVポート)	46hr	輸液ポンプ、インフュー ザーポンプ使用。 生食量は換算表参照

1クールの間 2週間
 その他（副作用・PS規定等）

投与後少なくとも13日の休薬をし、繰り返し投与(オキサリプラチン)。
 CVポート挿入が望ましい。
 骨髄抑制
 MST21ヶ月
 奏効率45~50%